

大槌川河川災害復旧仮堤防工事 安全祈願祭を開催

～ 大槌川水門の関連工事に着手 ～

河川課

【工事安全祈願祭】

平成 26 年2月4日、大槌町大槌地内において「二級河川大槌川河川災害復旧仮堤防工事」の安全祈願祭が開催されました。

本工事は、大槌川に新たに整備を予定している「大槌川水門」の工事に先立ち、河川を切り回すための仮堤防工事を行うものであり、大槌川水門に関連する工事としては、初めての工事着工となります。

安全祈願祭には、施工業者、町、県、国等の関係者約 30 名が出席し、鍬入れや玉串奉奠などの神事が行われました。

施工業者である株式会社小原建設からは、「震災直後から沿岸各地で復旧工事などを行ってきており、今後も、被災地の早期復旧・復興に取り組んでいきたい。」との決意が述べられました。



神事（鍬入れの儀）の様子



神事（玉串奉奠）の様子

【大槌川水門の概要】

大槌川は、チリ地震津波（S35）を契機として、高さ T.P.+6.4mの河川堤防の整備を行い、平成 20 年度までに完成していました。しかし、東日本大震災津波により堤防を越流した津波が背後の市街地に流れ込み、甚大な被害が発生しました。東日本大震災津波の被害を受け、隣接する小槌川水門とともに大槌川にも高さ T.P.+14.5mの水門を整備することとしています。

【おわりに】

今回の安全祈願祭を弾みとして、安全に工事が進められ、一日でも早く完成することを目指し、大槌町など関係機関との連携を図りながら復興事業が加速できるよう取り組んでいきます。